

岐阜労働局

令和7年11月7日発表

担当	労働基準部監督課
	監督課長 平林 健生
	監察監督官 梅田 健貴
	電話 058-245-8102
	夜間 058-206-4102

岐阜労働局長がベストプラクティス企業を訪問します

岐阜労働局（局長 原田 浩一）では、11月の過重労働解消キャンペーンの取組の一つとして、長時間労働削減に向けた取組を行う企業を「ベストプラクティス企業」とし、長時間労働削減に向けた取組状況、問題点等について意見交換を行っています。（別紙1参照）

今年度は、近年の観光客数の増加傾向や人手不足の状況により、労働時間の長時間化が懸念されるところ、労働時間の削減等に取り組んでいる以下の企業を対象とし、具体的な取組事例についての紹介、意見交換を行い、これを広く紹介することにより、過重労働解消に向けての気運の醸成を図ることといたします。

1 日時

令和7年11月17日（月）13:30～（約1時間）

2 会場

高山グリーンホテル（瑞祥の間）

所在地 岐阜県高山市西之一色町2-180

電話番号 0577-33-5500

3 ベストプラクティス企業

高山グリーンホテル（岐阜県高山市西之一色町2-180）

ひだホテルプラザ（岐阜県高山市花岡町2丁目60番地）

2社の取組については別紙2参照

4 実施内容（別紙1裏面参照）

- ・長時間労働削減等の取組事項の紹介
- ・取組事例の紹介（高山グリーンホテル）
- ・ベストプラクティス企業と労働局長との意見交換

5 取材

会場が一般のお客様も利用されるホテルであるため、取材を希望される方は、11月14日（金）正午までに、岐阜労働局監督課梅田（058-245-8102）までご連絡ください。

ベストプラクティス企業との意見交換

【ベストプラクティス企業とは】

地域において、長時間労働削減に向けて積極的に取り組んでいる企業やそれに協力する取引先企業等を「ベストプラクティス企業」と呼んでいます。

平成28年度から岐阜労働局長がベストプラクティス企業との意見交換を行い、長時間労働の削減に向けた取組事例を収集するとともに、ホームページや報道発表などを活用し、情報発信をしています。

【岐阜労働局における過去のベストプラクティス企業】

年度	事業場名
平成28年度	(株)可児LIXILサンウェーブ製作所
平成29年度	(株)鵜飼
平成30年度	岐阜精機工業(株)
令和元年度	(株)和井田製作所
令和2年度	(株)電算システム
令和3年度	岐阜殖産(株)
令和4年度	MeijiSeikaファルマ(株)
令和5年度	(株)大西組、(株)藤本組、丸ス産業(株)
令和6年度	大王製紙(株)可児工場、ダイオーロジスティクス(株)中部支店



過去のベストプラクティス企業の詳細はこちら

宿泊業の「新しい働き方」 － 取組企業を紹介します －

人手不足の中、職場の生産性を上げることで、労働者が定着する職場環境を整備することは、重要な課題です。

職場の生産性を上げるための業務改善を積極的に行っている岐阜県内の宿泊業の取組事例を紹介します。



こちらから
ご覧ください



Key Word

まずは
「やってみる」

こちらから
ご覧ください



宿泊業の「新しい働き方」 高山グリーンホテル



Key Word

スタッフの
意見を形に

業務改善のヒントがここにあります！

厚生労働省
岐阜労働局

岐阜労働局 宿泊業の新しい働き方 **検索**

からもご覧いただけます。

問合せ先：岐阜労働局監督課

(R 6 . 1 0)